

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)
Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2023年2月13日(月)
NO. 1348号
本号3頁

憲法共同センターと「大軍拡・大増税 NO!連絡会」 **大軍拡、大増税に反対! 憲法改悪反対! 9の日行動**

憲法共同センターは、新しく結成された「大軍拡・大増税 NO!連絡会」とともに、「憲法改悪を許さない全国署名」と新しくスタートした「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」への協力を呼びかける宣伝行を行いました。

この行動は全国各地で取り组まれました。新宿駅西口の宣伝場所に行くと、いつものメンバーと違う十数名の方がおられ、いつもと違う雰囲気。「どなたか来るのですか」とお聞きしましたところ、志位委員長が来ます」とお話で、びっくり。共産党は本気で「大軍拡・大増税」とたたかうんだなと嬉しく思いました。

街宣の冒頭、マイクを持った志位氏は、岸田政権が閣議決定した安保3文書に明記された敵基地攻撃能力について、射程2000~3000キロのミサイルを持って相手方を破壊するものだと指摘。「専守防衛」との政府の言い訳は通用しないと強調し、「こんな物騒な兵器に使うお金があるなら暮らしに回すべきだ」と訴えました。

さらに、敵基地攻撃能力の行使は、自衛隊と米軍が融合した一体化の仕組みで海外に出ていくものだと告発。米国防総省の「統合防空ミサイル防衛」(IAMD)では、「先制攻撃をやる」と明記され、自衛隊も米軍と一緒に先制攻撃を行うことになるかと告発しました。



その上で「9条を生かした平和外交で東アジアを戦争の心配のない平和の地域にしていくことこそ、日本の進むべき道です」と述べ、『軍拡を許さない』の一点で団結しよう」と呼びかけました。

その後、自由法曹団や農民連など各団体の代表が訴えました。新婦人の牧祐子中央常任委員は、コロナ禍や物価高騰で国民生活がひっ迫するなか、「来年度予算案では軍事費にかかわる予算が過去最高となる10兆円超になっています」と強調。一方で社会保障費などは削減されており、軍拡の負担を国民に押し付けないでと述べました。

全日本民医連の木下興事務局次長は、安保3文書は有事を想定し、最前線での医療体制強化も狙われていると告発。「戦争に医療関係者が組み込まれることにほかなりません。私たちは、戦争に加担しません」と語りました。

農民連の町田常高氏は、国会にも諮らず、閣議決定で決めた防衛戦略の大転換を決めた岸田政権を批判。そして、乳価の大暴落で酪農家が大変な状況に追い込まれている実態を告発し、岸田政権の農業政策を厳しく批判しました。

憲法守れ!戦争させない!と埼玉憲法会議が総会を開催

2023年度埼玉憲法会議の総会が、2月11日、埼玉教育会館で行われました。司会・進行は同会議事務局次長の埼玉平和委員の二橋元長氏。

はじめに、代表委員の埼玉新日本婦人の会会長の高田美恵子氏が開会あいさつ。高田氏は先日「(同性婚カップルが)隣に住んでいたら嫌だ。見るのも嫌だ。秘書官もみんな嫌だと言ってい

る」と発言し、辞任した荒井勝喜首相秘書官。そして、岸田首相が同性婚をめぐる「家族観や価値観、社会が変わる課題だ」と答弁したことを挙げ、ジェンダー平等に対する認識がなかなか変わっていないと厳しく批判。一方、安保関連3文書を閣議決定で大軍拡を進める岸田政権は怖いと、大軍拡阻止に向けた運動にも奮闘しようと呼びかけました。

中央憲法会議の高橋信一事務局長が講演。安保関連3文書の要旨をもとに、戦後「我が国の防衛の基本方針」としてきた「専守防衛」をも根本的に踏みにじり、「戦争する国造り」から「戦争準備国」へと踏み込む、極めて危険なものだと指摘。さらに、立憲民主党が「予算審議のめどがつくまで憲法審査会の開催に応じられない」と自民党に伝え、8日の幹事懇談会を欠席したことを紹介し、新たな変化が見られると、引き続き改憲発議阻止に向けて奮闘しあうことを訴えました。



次に、渡辺正成事務局次長が総会議案を提案。渡辺事務局長は、2022年度は県弁護士会、連合埼玉、埼労連の後援、立憲野党との共同行動が続けられているオール埼玉総行動のとりくみは全国的にも貴重な教訓を生み出していると語り、3月に「戦争させない!埼玉の会」で「ロシアのウクライナ侵略に反対するロングラン(4時間)宣伝を200人以上で実施したこと、毎週金曜日に「昼休み金曜宣伝」にとりくみ、楽団演奏もある楽しい行動を展開し、1月時点で335回を超えたことなどを報告しました。

2023年は、改めて改憲阻止の一点で圧倒的な県民世論をつくっていくための様々運動のセンターとして機能していこうと、憲法会議の役割と運動を述べ、日本国憲法の素晴らしさを実感し、その反面として改憲案の危険性を理解することが、改憲に反対する真の力になると、憲法学習を網の目のように広げて行くこと。毎月の「9の日」を「憲法行動の日」として全県で宣伝行動を展開すること、さらに昨年と同様に様々な集会・講演会・イベント、そして5月の「輝け!日本国憲法のつどい」など県民大集会を開催・成功させることなどを提案しました。

その提案を受けて、参加者より大軍拡・大増税阻止のたたかい、改憲発議を許さないたたかいの報告と、決意が語られました。

立憲民主党内の「左派」2グループが合同会合開く

立憲民主党内の左派系の党内グループが9日、国会内で合同の会合を開きました。2グループは、「サンクチュアリ」(会長近藤昭一衆院議員・約30人)と「国のかたち研究会」(会長菅直人元首相、約20人)。この日は、両会長のほかに、西村智奈美代表代行、小川淳也前政調会長ら約30人が参加しました。

出席者の話では、維新との関係や安全保障などが話題となりました。憲法改正に積極的な維新との「共闘」に関して、「これ以上の深化は控えるべきだ」と主張する意見が出ました。「我々がもっと声を上げていかないと、党はおかしな方向に行く」との発言もありました。

泉代表 維新の馬場代表に「重馬場であってほしい」と反撃

一方、維新の馬場代表が、衆院憲法審査会の幹事懇談会を欠席した立憲民主党を批判していることについて、泉代表は、「自民党って、政権与党で数も多くて、一筋縄ではいかない勢力。だけど維新はすぐ、自民の誘いに乗ってしまう感じがする。交渉の場から早々におりしてしまうのか、それともさらにもう一段与党と交渉するのかわ、獲得できるものも変わってくる。そういった重みだとか、慎重さが大事だ。すぐ与党の誘いに乗ってしまうのでは、野党としては戦えない。私の選挙区には京都競馬場があるが、馬場さんは「重馬場(おもばば)」(馬が走りにくい競馬場の状態)であってほしい。与党にとって走りやすい状態を作るのか、与党にとってどういう重みを作るのか。良馬場では、ただ単に与党が走りやすいだけだ。馬場さんは重馬場であってほしいと思う。」と発言しています。

2023年5.3 憲法集会 東京臨海広域防災公園で開催へ

第2回5.3 憲法集会実行委員会が2月9日(木)に開催され、開催に向け準備を進めています。これまでに決まったことをお知らせします。

◆会場 東京臨海広域防災公園

1. 集会名(確定)

「あらたな戦前にさせない! 守ろう平和といのちとくらし 2023 憲法大集会」

2. スローガン

私たちは

- ・改憲発議を許さず、憲法をいかし、平和といのちとくらしと人権を守ります。
- ・軍拡と敵基地攻撃能力保有の閣議決定を撤回し、外交努力での平和を求めます。
- ・辺野古新基地建設と南西諸島へのミサイル基地配備の中止を求めます。
- ・エネルギー危機を口実とした原発推進政策に反対します。
- ・ジェンダー平等の社会をめざします。
- ・これら実現のため岸田政権の暴走をストップさせ、安心してらせる社会をめざします。

3. 集会への参加と賛同呼びかけ →総がかり・市民アクション・5.3 憲法集会のHPに掲載

4. 内容(プログラム)

①メインステージ 13:00~14:15

1) メインスピーチ案: (著名人)(憲法学者)(各課題)(市民連合)
・清末愛砂さん(○)

・依頼中→泉川友樹さん(沖縄国際大学沖縄経済環境研究所特別研究員)

・依頼中→東村アキコさん(漫画家)→酒井恵理さん(漫画家)

2) 開会挨拶、各政党代表スピーチ、閉会挨拶(行動提起)、

②オープニング&クロージング 12:30~13:00

・黒猫同盟(小泉今日子さん)に出演オファー。

・浜野謙太さん(依頼中) ・新沢としひこさんへの依頼を検討中。

③サブステージ(案) 11:~12:30

1)「自由に話そうトークイベント」 2)「#MeToo #WithYou 女たちよつながろう」

3) ライブステージ 4) こども憲法ひろば

④パレード 14:30~16:30

⑤出展関係 3月中旬から申し込み案内→4月中旬申し込み締め切り

各地のとくくみ

東京・渋谷 宗教者ら宣伝 武力で平和は作れません

岸田政権が押し進める大軍拡に反対の声をあげようと7日、宗教者らが渋谷駅前で「武力で平和は作れません」と訴えました。25人が参加しました。

主催は「平和をつくり出す宗教者ネット」など4団体。冒頭、「閣議決定で勝手に決めるな」「対話で外交」「軍事の暴走を止めよう」などのコールを行いました。

東京都八王子市の浅川金刀比羅神社神主、奥田靖二さんは、「日本の自衛隊が海外に戦争を仕掛けて、何の得があるのか」と指摘。「最大の抑止力は、日本がどこの国にも攻撃をしないと宣言すること。攻撃する意図のない国を、攻撃してくる国はない」と強調しました。

キリスト者の渡辺多嘉子さんは、「戦争状態にある国を見ればわかるが、ミサイルや核などの兵器を持つことでは、平和はやってこない。岸田政権が目指す軍備増強に反対の声をあげよう。みんながその声をあげれば、岸田首相も、大軍拡を通すことはできない」と訴えました。

日本山妙法寺の信徒、藤井章さんは、自ら描いた木炭画を手にスピーチ。他国から攻撃される不安をおおる報道が増えているなか、「それにあおられないこと、自分自身で見極めてくることが大切だ」と語りました。

2023 年春の憲法講座

—大軍拡、大増税、憲法9条改悪阻止、憲法を生かした政治を!—

○講座・講演 編 厚 山口大学名誉教授

「戦争への危機編る「安保三文書」を徹底批判する～アジアと日本の平和を築く展望を何処に求めるのか～」

日本の防衛政策の大転換となる安保三文書。その策定経緯からアメリカの軍事戦略と表裏一体のものであることが明らかとなっている。日米安保体制が日本防衛ではなく、アメリカの世界戦略に完全に組み込まれることを意味した三文書。果たして日本の安全保障は、これで担保されるのか。それは国家総動員体制の構築を目指した戦前日本国家への回帰ではないか。それが数多の惨禍を生んだ戦争国家日本と同じ轍を踏むものではないか。抑止力強化を口実とする軍拡の連鎖のなかで、本当に日本の平和と安全は担保されるのか。そうした疑問と課題に如何に答え、議論していくのか。そうした観点から問題提起し、そして、アジアと日本の平和を築く展望を語ります。



○国会情勢報告 日本共産党国会議員

と き 2023年2月25日(土) 午前10時00分～12時
と ころ アルカディア市ヶ谷 千代田区九段北4-2-25
TEL:03-3261-9921

資 料 代 1000円(学生500円) 当日会場で
主 催 憲法会議(憲法改悪阻止各界連絡会議)

協 賛 神奈川憲法会議/埼玉憲法会議
千葉県憲法会議/東京憲法会議



*参加者を120名に限定。下記へお申し込みをお願いします。

(定員になり次第、ホームページでお知らせします。)

*Youtubeで同人配信します。右のQRコードからご視聴ください。



◆申し込み・連絡先◆

憲法会議 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-32 金子ビル103

Tel:03-3261-9007 FAX:03-3261-5453 Eメール: mail@kenpoukaigi.jp

● 憲法講座受講申し込み書 ●

氏名	住所	電話	FAX	メールアドレス